

国語辞典で遊ぼう！

家族でことばを楽しんでいる。きっかけは、小学校2年生の娘に学習用の辞書を買ったことだ。せっかく買ったのだけれど、あまり使う機会がなかった。そんなとき、ある出版社が、国語辞典を使ったゲームを紹介しているのを知った。子どもたちにもっと辞書を使ってほしいという思いがあるのだろう。そのルールを簡単にして家族で遊ぶことにした。

我が家でのやり方はこうだ。テーマを決めて、それにぴったりのことばを辞書の項目や用例から探す。30分のうちにできるだけことばを見つける。理由も添えて紙に書き留める。時間になったら、それぞれが選んだことばを発表するのだ。

第1回のテーマは「楽しそうなことば」にした。それも楽しいの「た」で始まることばを探す。1人に1冊ずつの辞書、A4の紙、えんぴつ。娘は真新しい辞書を手にして真剣な顔つきだ。

「よーい、スタート！」

家族3人、辞書に向き合う。沈黙が続く。“シャッ”“ピラリ”辞書をめくる音。“カリカリ”選んだことばを書き込む音。「ククッ」時折、ツポにはまって笑い声が響く。「何を笑っているんだろう?」。互いにチラリと

顔を見る。などを解き明かすのは、あとの楽しみにしておこう。

「はーい、終了〜！」

さあ、どんな楽しいことばを見つけたのか? いよいよ発表だ。まずは娘から。ちよっぴり恥ずかしそうにしながら教えてくれた。見つけたのは9つ。特にお気に入りという3つを紹介する。1つ目は【体育】みんなでなわとびとかをすると楽しそうだから。2つ目【大会】みんなでおまつりをすると楽しそうだから。3つ目【たいこ】みんなでたいこをえんそうすると楽しそうだから。どうやら娘はみんなで何かをするのが楽しいらしい。

続いて妻。10個選んだ。お気に入り2つは【だじゃれ】【たぬきおやし】。「え! パパのこと?」「わはは」、家中に明るさが広がる。最後は……【たんまり】。日ごろ、金銭欲・物欲のかけらもない妻が、そんなことばを選ぶとは! ちよっぴりギョツとした。

さて、筆者は13個選んだ。一番のお気に入りは【ダンス】。前歯が2本抜けた笑顔の娘が「キャハ」と言いながら、あの縄跳びダンスをぴょんぴょん踊る。それを見るのが楽しいのだ。新年度が始まる。辞書を買う人も多いただろう。お気に入りの国語辞典で遊んでみませんか? 高橋 徹(たかはし とおる)